

No. 85  
2015.11.1

# 宇治田原町 議会だより

## 《 目 次 》

- 9月定例会..... 2～3P
- 決算特別委員会..... 4～6P
- 委員会報告・人事案件..... 7P
- 7議員が町政を問う..... 8～15P
- 議会報告会..... 16P
- インタビュー..... 17P

表紙写真〈立川にて〉

# 有効な財政出動を



町内産材活用  
バス停整備費補助金  
317万円



主要町道新設改良事業  
9,908万円

郷之口湯屋谷線

バス停(岩山)

平成27年第3回定例会は、9月4日から10月2日まで開催した。予算関係3件(補正予算)、条例関係2件(改正2件)、一般議案1件、人事案件2件(監査委員の選任、固定資産評価審査委員会委員の選任)について提案があり、原案通り可決、同意した。また、意見書3件が提出された。平成26年度決算7議案については、監査委員を除く11名で決算特別委員会を設置し審議、いずれも原案通り認定した。

一般質問には7人の議員がたち、活発な議論を展開した。

## 各会計の決算一覧

(千円以下切捨て)

会計名		歳入	歳出	歳入歳出差引額	審議結果	
一般会計		43億1,028万円	41億2,948万円	1億8,079万円	認定 賛成8：反対3	
特別会計	国民健康保険	10億7,448万円	11億4,080万円	△6,631万円	認定 全員賛成	
	後期高齢者医療	8,745万円	8,649万円	95万円	認定 賛成9：反対2	
	介護保険	保険事業勘定	7億1,867万円	7億0,867万円	1,000万円	認定 全員賛成
		介護サービス	461万円	381万円	80万円	
	奥山田地区簡易水道事業		7,368万円	7,368万円	0円	認定 全員賛成
	公共下水道事業		5億9,563万円	5億8,505万円	1,058万円	認定 賛成9：反対2
水道事業会計	収益的	2億6,931万円	2億4,025万円	2,906万円	認定 賛成9：反対2	
	資本的	1億2,334万円	3億7,134万円	△2億4,799万円		

# 平成26年度 決算をチェック！

## 創意工夫と適正配分で

### 実施した主な事業



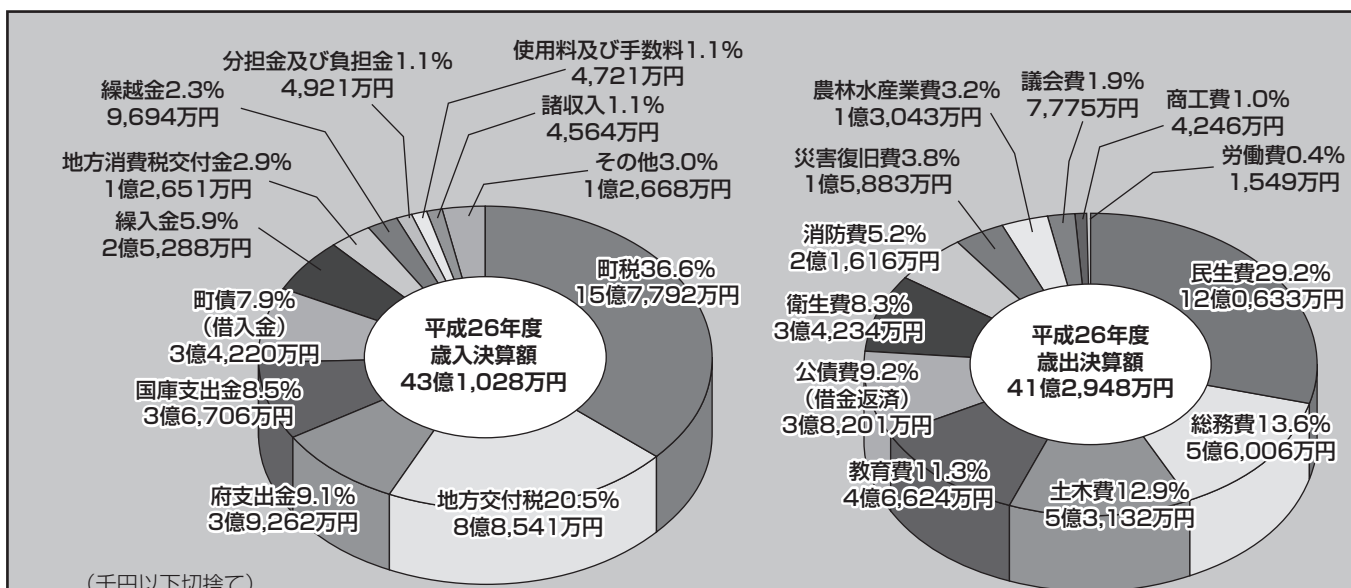
地域防犯推進事業  
372万円

見守りステーション



障がい者福祉親設整備  
支援事業  
300万円

むく福祉会くるみの家



(千円以下切捨て)  
※端数整理上、決算合計額と一致しません。

# 決算特別委員会の審査

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置。委員長に内田文夫議員、副委員長に山内実貴子議員を選出し、審査した。

9月18日に決算特別委員会を開会し、平成26年度一般会計、特別会計、水道事業会計について個別審査を行った。

25日、障がい者福祉新施設整備支援事業、放課後児童健全育成事業(2小学校)、町内産材活用



郷ノ口湯屋谷線

## 決算監査意見書(要旨)

平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、それぞれの歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査、財産に関する調査、各種関係諸帳簿及び証書類等を審査した結果、各会計とも良好であると認める。  
現地調査についても、資料及び現地での事業状況を審査した結果、事業の執行は適正であると認める。  
今後においても、人口減少、少子・高齢化等により、本町を取り巻く状況は厳しい状況で推移することが予想されるところであるが、中長期的な視野に立ち、なお一層、適切な事務執行に努められることを期待し、監査の意見とする。

監査委員

## 主な質疑

### 総括

- 問 町内企業への聞き取り実態調査についてどう考えているのか。
- 答 調査対象を業種ごとに抽出するなど検討し、調査を行いたい。
- 問 山手線の国道以南について、ルートの確定を早急にすべきではないか。
- 答 京都府と協議を行っているところであり、その動向により判断されるものである。

- 問 子宮頸がんワクチンの副反応の実態は。
- 答 本町では事例は無い。積極的勧奨を控え、適切な助言を行ったうえで対応していきたい。
- 問 未舗装となっている集落内生活道路を舗装することにしているのか。
- 答 避難経路でもあり、検討をしていきたい。
- 問 高齢者福祉施設整備助成について、助成制度を創設し、参入しやすい環境整備が必要ではないか。
- 答 実施することを前提に、検討する。年内を目途に助成内容及び事業者の決定、新年度予算に必要経費を予算計上できるように進めたい。
- 問 国際交流事業について英語圏の候補地探しに着手するためにも、子ども達へのアンケート調査の実施の考えは。
- 答 小学校高学年、中学生を対象に実施に向け取り組みを進めたい。来年度予算に調査費等を計上していきたい。



介護施設



旧かつき診療所

**問** まちづくり総合計画と「ともに創るまちづくり推進条例」の関係はどのようなものか。

**答** 最高規範として存在するものではなく、総合計画策定にあたっての直接の制約を受けるものではない。また、第4次まちづくり総合計画の終了と併せ、必要な整理を行いたい。

一般会計

**問** 町長が当初予算の編成から全て携わった初めての決算である。決算についてどのよう

**答** 医療費の分析を行い、診療科目として整形外科、眼科の医療機関に個別に相談を行ったが、

かなり厳しい状況である。本町が望む診療体制の実現に向け協議をしていきたい。

**問** 山手線の緑苑坂以北の整備計画について、今後どのような計画で、予算獲得を行っていくのか。

**答** 全体事業費で25億から26億を想定しており、町負担は、12億程度と見込んでいます。本町独自で全てを賄うのは非常に厳しく、国・京都府に対して財源確保をお願いしていく。

**問** 第一回目の総合教育会議を終え、町長は今日のように考えているのか。

**答** 総合教育会議は、首長と教育委員会が意思の疎通がいき、教育課題や推進すべき教育施策についてしっかりと、お互いが情報共有し理解しあえることができ、大変意義深いものだと考えている。

反対

討論

(今西久美子議員)

昨年4月の消費増税による負担増から、苦しい経営を強いられている町内企業商店の活性化の為に、訪問調査の実施、住宅リフォームの助成制度、小規模工事登録制度の実施を。

山手線の国道307号以南は、35年度までの完成は厳しい。完成後すぐに再整備となったバス停は問題。プラマークごみの啓発は不十分。田原学童保育の60名もの詰め込みは問題。早急な対応を。

賛成

討論

(奥村 房雄議員)

安心安全、まちづくり成長基盤整備、産業観光振興、福祉健康長寿、教育対策という5つの施策を重点的に町の特性を生かし、新たな発展のさきがけとなる事業を推進、喫緊の課題への対応と将来を見据えた事業についてもバランスよく積極的に取り組んでおり、その先見性と実行力を評価する。

介護保険会計

**問** チェックリストの回収率及び回収方法は。

**答** 1,309人に配布。回収率は66%。今年度より、地域包括支援センターに保健師を採用。参加されない方に個別訪問を実施した。

国保会計

体的な施策の考えについては。

**問** 単年度で大きな赤字を計上し、累積赤字も増えた結果となっている。具

体的な施策の考えについては。

**答** 保険税の収納額、収納率は上がっており、医療費は下がっている。近隣の市町村と比較しても

隣りの市町村と比較しても

公共下水道会計

**問** 単独の処理場についてはコストが割高になる。今後の経営会議の中で調整することだが、どのように考えているのか。

**答** 平成26年、27年の二カ年をかけて、全体計画の見直しに取り組んでいるところである。現在様々なデータ整理を行っており、人口ビジョンと下水道計画を整合させなければならぬと考えている。結果



下水道施設

が出た段階において報告したい。

討論

反対

(安本 修議員)

下水道に接続しない理由は経済的理由が最も多い。融資あっせん制度の改定と、宅内工事に対する補助制度などの対策を。住民の負担を軽減するため、消費税増税分を転嫁すべきでない。

水道事業会計

**問** 有収率は高いことに越したことがなく、漏水対策として、配水池ごとの有収率を算出し、そのデータを基に対策すべきではないか。

**答** 担当課としても有収率向上の為に必要と考えている。出来る限り年度内にある程度の数字を把握したい。

討論

反対

(安本 修議員)

漏水などで24万トンが無駄となっている。漏水は原価にも直結することから、配水池ごとの有収率をはじき出し、漏水箇所を特定して老朽水道管の早急な布設替えを。

補正予算特別委員会

一般会計

宇治田原山手線本格始動！

**問** 予算計上額は主に田畑の購入と理解していいの

**答** 緑苑坂以北の用地買収は、田畑が中心の買収となる。

**問** ふるさと情報発信円滑化事業の全体事業費、補助率、発行部数は。

**答** 総事業費78万円で、2分の1の39万円が京都府、町と事業主体の商工会が各4分の1の19万5千円。発行部数は1万2千部。

**問** 地域福祉策定事業の委員の選任については。

**答** 選任には公募の委員を予定。女性委員についても、幅広い角度で検討し、積極的に適任と思われる方をお願いする。

国保会計

**問** 平成27年度の見通しは。

**答** 平均医療費が4,700万円程度であったものが、今年度は5,372万円となっている。

又、9月に於いては、5,900万円と過去最高。特に前期高齢者(65歳~74歳の医療費が高額となっている。医療費がそのまま推移すると厳しい状況。

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	1億249万円	44億564万円	可決 全員賛成
国保会計	635万円	13億4,712万円	可決 全員賛成
介護保険	保健事業	299万円	可決 全員賛成
	介護サービス	70万円	

人事案件

●監査委員



本多 八朗氏(岩山)  
任期 平成27年10月1日～  
平成31年9月30日  
(可決・全員賛成)

●固定資産評価審査委員会委員

安井 要氏(湯屋谷)  
上野 藤一氏(南)  
大北 康人氏(岩山)  
任期 平成27年10月13日～  
平成30年10月12日  
(再任)  
(可決・全員賛成)

意見書

- ◎安全保障関連法案の撤回・廃案を求める意見書 (否決・賛成少数)
- ◎安全保障法制の慎重審議を求める意見書 (否決・賛成少数)
- ◎ヘイトスピーチ対策について法整備を求める意見書 (可決・全員賛成)

町議会会議規則の一部改正

議員の出産に関わる欠席についての会議規則の改正。

新庁舎特別委員会

議員全員で新庁舎特別委員会を設置し、慎重な議論を重ね精査。統一見解を提言書として町長に手渡した。



総務産業常任委員会

辺地総合整備計画(奥山田辺地)の策定

個人情報保護条例の一部改正

問 何点で辺地対象地域となるのか。また交付税算入率は。

(賛成多数)

答 100点以上が辺地対象となる。算入率は、80%が措置される。

\*6月定例会で継続審査となっていた税条例の改正(議案第48号)は、10月2日、撤回請求され許可した。

(賛成全員)

討論

反対

個人情報保護条例 (安本 修議員)

マイナンバー制度の導入は、個人のプライバシー侵害の危険性を高くする。標的型攻撃メールの訓練では、複数の職員が開いたと報告があった。マイナンバー制度は、個人情報の保護どころか、漏えいやなり済まし犯罪の頻発、プライバシー侵害の危険性があり、反対。

文教厚生常任委員会

手数料に関わる条例の一部を改正

「通知カード」  
500円

(施工日 平成27年10月5日の交付開始日)

「通知カード」「個人番号カード」の初回交付手数料は、国により

800円

無料

(施工日 平成28年1月1日の交付開始日)

\*改正内容

再交付時に手数料が必要

(賛成多数)

討論

反対

手数料条例の一部改正 (今西久美子議員)

情報漏えいを防ぐ完全なシステムの構築は不可能。企業の対策の遅れや、マイナンバーを知らない人など、理解不足による情報漏えいはありえる。こんな状況の中で、カードの交付開始は個人情報危険にさらすこととなる。

# 一般質問

# ズバリ! 町政を問う

9月8日



## 一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	垣内 秋弘	1. 総合防災訓練の進め方 2. 地方版総合戦略の進捗は 3. 住民グラウンドのナイター照度アップを
2	谷口 重和	1. 宇治田原を桜の観光名所に 2. 小規模特養の公募と今後
3	今西久美子	1. 子育てしやすい町づくりを 2. 介護保険の負担と給付
4	山内実貴子	1. 夏休み明けの子どもへの対応 2. ホームページの充実を

	質問者	質問事項
5	上林 昌三	1. 子ども達の心の中が見える教育 2. 宇治田原町のPRを更に
6	奥村 房雄	1. 新名神工事で地元雇用の創出を
7	稲石 義一	1. 公共施設等マネジメント推進事業は 2. 公共交通システムの見直し 3. 地方創生の取り組み 4. 小中一貫教育推進の後は

## 傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場2階総務課で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。ただくか、議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。



# 総合防災訓練を効果的に

## 【答】外部組織とも連携強化を図る

【質問】

防災・避難訓練に関し

ては、一昨年はハシゴ車

が来て田原小学校区を中

心に、昨年は自衛隊の輸

送訓練及び水圧体験や人

命救助訓練が宇治田原小

学校区を中心に実施さ

れ、スタイルは違ったも

の住民の意識の向上が

図られた。今年度は5月

に災害時相互応援協定を

締結した岐阜県池田町へ

の参加要請、自衛隊・ド

クターへリへの要請等も

実施し集大成の総合防災

訓練を実施してはと考え

るが。

【答 弁（総務課長）】

本年は11月8日田原小

学校を会場に高尾区、郷

之口区、荒木区の自主防

災会の協力を得て、地震

を想定した訓練と、倒壊

家屋からの救助訓練を実

施する。

陸上自衛隊や京滋、ドク

ターへリにも訓練協力の

お願いと併せ、池田町に

は訓練への参加をお願い

し、綿密な連携強化を

図っていく。



垣内秋弘 議員

## 地方創生の進捗は

### 【答】具体的な施策を検討中

【質問】

国の方針である地方創

生の地方版総合戦略の策

定は時期的に待ったなし

の状態であるが、現状の

進捗状況は。

【答 弁（町長）】

地域創生総合戦略の策

定は庁内組織と各種団体

の関係者からなる外部組

織を設置し作業を進めて

いる。総合戦略は本年度

から5年間とされてお

り、早期に具体的内容を

示せるよう努力する。

【意見】

町長自らがリーダー

シップを発揮して早急に

まとめていただきたい。

## 住民グラウンドの照度アップを

### 【答】今後検討する

【質問】

住民グラウンドの照明

が周辺での樹木でブライ

ンドになり暗くて見にく

い。枝を伐採するか別の

方法で照度アップを図っ

てもらいたい。

【答 弁（教育課長）】

端々で足元の暗い状況

は危険を伴うため樹木と

照明器具の関係、木陰の

暗い部分など、課題に対

して必要な手立てを今後

検討していきたい。



平成 26 年町総合防災訓練の様子



グラウンド照明

# 観光名所を作れ

## 【答】委員会で検討する

【質問】

いろいろな箇所や場面で観光調査の実施とその動向を検証されてきたが、調査対象としては非常にとほしく、町観光振興計画は短期5年から長期10年以上の計画を定め、観光推進力づくり・

基盤の整備などを掲げ、自然や文化遺産の資源を活用して、どれだけの観光客を呼び込もうと思っているのか、観光施策は強力な施策を打ち出す必要がある、まずは町有林に桜1万本・紅葉1万本を植栽すれば、観光の一

大拠点を築き上げ、吉野

の千本桜・宇治田原の万本桜と名を馳せることであり観光振興計画にも大きな実績が出るものと思われる。資金源としては、スポンサーを募り各ブロックごとにスポンサー名を付けてP・Rを兼ね備え、全国・もしくは世界に発信すれば、応募は間違いなく増大し、

【質問】

また治山・治水他、諸問題も解決できる。計画は一般的では駄目であり群を抜いた大目玉でこそ集客力も上がり町の活性化と繁栄につながる。観光産業を興すか否か、当局の考えは。

【答 弁(町長)】

桜や紅葉の植栽事業は集客力があると思う。今回のご提言は、委員会や専門部会で改めて検討していただく。



谷口重和  
議員

## 老人福祉施設はどうなった

### 【答】開設目標は29年度

【質問】

地域密着型介護老人福祉施設の整備は、今年度の公募で応募件数が0であったと聞いている。事業者に聞いてみると何らかの支援や、補助がなければ本町で事業をするのは採算性の確保が難しい事業であると聞いた。

【答 弁(町長)】

本町の介護施設の整備は必ず必要であり支援策も含め十分検討し実現へ取り進む必要がある。応募が0件であったことを踏まえ、支援策の検討は

【答 弁(町長)】

小規模特養の整備は必要であると認識している。開設目標を平成29年度とし、事業実施できるよう鋭意取り組んでいく。



郷土を桜の名所に



介護施設・いこいの時間

# 子どもたちの遊び場充実を

## 【答】計画的に整備充実を図る



狭い児童遊園



今西久美子  
議員

【質問】

町内には子どもたちの遊び場が少なく、多くの方が充実を望んでいる。「子ども・子育て支援事業計画」では、「公園のあり方を検討し、計画的な整備を進める」とあるが、早急に整備計画を作

るべきでは。

【答 弁 (町長)】

子どもたちが安心・安全に遊べる遊び場の確保は非常に重要な課題。町全体の公共施設の状況を踏まえ、計画的な整備充実を図る。

【質問】

子育てニーズ調査で

【質問】

国の介護保険法改定で、要支援のデイサービスと訪問介護が介護保険から外され、平成29年4月からは町の事業に移行する。移行後の認定方法やサービス内容、負担額

はどうなるのか。

【答 弁(健康長寿課長)】

認定方法は、現在と同じ。サービス内容は、その方の状況を考慮し、現行サービスか移行後の総合事業かを判断していく。負担額は、未定。

### 要支援の町事業への移行の対応は【答】万全の準備を進めていく

は、「経済的負担の軽減」を望む声が75%を超えている。憲法26条は「義務教育は無償」としているが、実際には保護者負担がある。学校給食費、教材費など、無料化の検討を。

【答 弁 (教育次長)】  
多くの方が、子育てにかかる経済的支援を望まれていることは認識している。学校給食費、教材費など、経済的理由で就学困難な家庭には援助している。

【質問】

要介護状態にならないように、介護予防は重要であり、サービス縮小、保険給付からの除外、負担増による利用抑制はかえって重度化が懸念される。利用者が安心してサービスが受けられるよう基盤整備を。

【答 弁 (町長)】

今年から現状分析、課題整理や関係機関との調整を行い、万全の準備を進めていく。

【質問】

8月から施設利用者の食費・居住費の補助に資

産要件が導入され、預金通帳のコピー等の提出が義務付けられた。配偶者にまで残高照会承諾書の提出を義務付けるのは、生活保護法にもない異例の措置。同意が困難な場合や夫婦とも認知症の場合など申請できないケースも予想されるが、どう対応するのか。

【答 弁(健康長寿課長)】

認知症等により申請が困難な方は成年後見制度の利用をすすめている。必要な申請ができない事態にならないよう、きめ細かな対応に努める。



町事業を担う地域包括支援センター

# 夏休み明けの変化に対応を

## 【答】最大の注意に努める



山内実貴子  
議員

【質問】 新学期が始まった。子ども達にとって希望あるスタートにと願うが、

「9月1日は子どもの自殺が最も多い」との調査結果が関心を呼んでいる。この時期は、危機に直面している子どもがい

ることを認識すべきだ。

【答 弁 (教育次長)】

夏休み中及び夏休み明けの2学期始めについては、児童・生徒の様子や内面の変化がとても大きい時期として捉え、最大

の注意に努めることとしている。児童生徒のSO

Sは、一番身近にいる保護者や友人、学校においては担任や関係する教職

員の気づきから察知される。今後も、学校、保護

者などが連携を密にし、自殺予防に繋がる体制強化と更なる構築に努めていきたい。

【質問】

この夏、読書の時間を快適に楽しめる場所をと、図書館内だけでなく文化センターの研修室や2階ロビーの開放をされた。子ども達の居場所づくりに、また今後の利用についての考えは。

【答 弁 (教育課長)】

引き続き、ロビーを利用しやすい環境に整えていく。研修室については、関係機関と協議し、子ども達にとっての良い空間づくりを今後、検討していく。

## ホームページの更なる活用を

## 【答】タイムリーな情報提供に努める

【質問】

広報・町民の窓では、連続して素晴らしい賞をとられ充実しているが、ホームページには、まだまだ事業の内容や日程など、タイムリーさが欠け

ているのではないかと

切な情報発信のツールとしてホームページの更なる活用が大切だと考える

がいかかがか。

【答 弁 (総務課長)】

ホームページをはじめとするインターネットでの情報発信については、活用が必要であると認識している。更なるホームページのコンテンツ充実やタイムリーな情報提供に努める。



大応援の中での体育祭  
(維孝館中学校)



ホームページの閲覧はパソコン、スマホでも

# 本町の児童生徒への対応は

## 【答】学校・地域など連携を密に取り組む

### 【質問】

子どもたちの心の中が見える教育の推進は、小中学生に対する学力の充実等にも取り組まれ、子どもたちは落ち着いて勉学に励んでいると聞いて

いる。また、スポーツ面においても少女ソフトをはじめ、中学校の各種競技及び維中出身者が夏の甲子園で活躍するなど、本町の青少年は頑張っている。全国的には児童・

生徒を取り巻く環境は、

いじめによる自殺や凶悪な事件が多発している。この様な状況下において本町での児童生徒への指導、地域とのかかわりについてどのように取り組んでいるのか。

### 【答 弁 (教育次長)】

学校においては生徒指導部会や教育相談部会、また、いじめ対策部会を開催し児童生徒の様子の確認や指導方針について話し合っている。

本年度からは児童生徒一人一人がどのように感じ、学校全体の様子を参考にするためアンケートを実施した。また、専門



上林 昌三  
議員

家を迎えアトバイスを受けているなど、青少年の健全な育成のため、学校・保護者などと連携を密にして悲しい事象が起らないように努める。

## 茶ッピィを活用した町のPRを 【答】茶ッピィを有効活用しPRする

### 【質問】

町内での「茶ッピィ」は様々な場面で活用され

人気者になっているが、

町外では浸透していない。茶ッピィマークを活用した、うちわ、タオル、帽子等グッズを製作し各種イベント等での活用や

視察などで来庁された方に配布し町のPRをすれ

ばよいと思うが。

### 【答 弁 (企画課長)】

本町のシンボルとしても魅力発信のため、これまでも住民とプロジェクトチームを立ち上げ、うちわ、シールなどグッズの

製作を進めてきた。まちの活力を高めるためにはまちの知名度を高めることが重要であり、今後製作に向け鋭意取り組む。



家路につく維中生



モテモテの茶ッピィ

# 新名神で地元林業関係の雇用創出を

## 【答】引き続き要望・要請を行う

【質問】

新名神については用地

測量、物件調査、水文調

査、家屋調査も終わりこ

の3月から用地取得交渉

が開始されているがその

事業進捗状況と今後の予

定は。

【答 弁 (建設課長)】

3月より本格的に用地

買収に入り、8月末現在

の概ねの進捗は禅定寺地

区15%、岩山地区55%、

郷之口地区31%、となっ



奥村 房雄  
議員

ている。ネクスコ西日本

からは今後も積極的に交

渉にあたり、早期に完了

できるよう努力する旨の

報告を受けており本町と

しても支援してまいりた

い。

また、本年度下半期に

は工事発注の予定もされ

ており、入札・契約の準

備が終わり次第、それに

取りかかられるものと思

われ、ネクスコ西日本も

平成35年度の供用に向け

て精力的に事業に取り組

んでいる。

【質問】

用地取得交渉が順調に

進めば先ず工事用道路か

らの工事着手になると思

うが新名神工事対象地の

大部分を山林が占めてお

り、その立木の伐採・整

備作業に地場産業活性化

の見地から、地元林業関

係者の雇用創出をネクス

コ西日本に強く依頼して

いただきたい。

【答 弁 (建設課長)】

事業の発注はネクスコ

西日本であり、実際に現

場における使用者の決

定等は元請け業者がおこ

なうので、直接ネクスコ

西日本が地元業者の雇用

を約束できない状況にあ

るが、本町としても可能

な限り地元雇用が促進さ

れることは望むところで

あり、機会を見て働きか



高速道路ルート of 山林

けて行かなければならな  
いと認識している。

特に高速道路ルート of

大部分が山林であり、林

業関係の業務が多々ある

ものと想定している。こ

のようなことから引き

続き要望・要請を行って

いきたい。

# 独創的な総合戦略を！

## 【答】実効性のある戦略を掲げることが重要

【質問】

他の自治体の地方創生

総合戦略は国の基本方針

に沿った「金太郎あめ」

のような画一的な内容に

なっている。これでは自

治体の特性が生かされ

ず、実効性の乏しい計画

に終わってしまう。

今回の地方創生は、町

の生き残りを懸けた究極

の戦いだ。町職員一丸と

なって独創的な施策をふ

んだんに盛り込んで頂き

たい。

【答 弁（町長）】

全国の自治体が総合戦

略を策定する中において、

本町が「キラリ」と輝きた

めには、いかに独創性、実

効性のある戦略を掲げる

ことができるかが最も重

要であると認識している。

【答 弁（企画課長）】

実際に利用されている

方々の声を直接お伺い

し、今後の対策に活用し

ていく必要がある。年内

を目的に、利用目的、頻

度、時間帯、満足度等に

関する実態調査を実施し

たい。



稲石 義一  
議員

## 公共交通のニーズ調査は 【答】年内に利用実態調査を行う

【質問】

福祉バス・「コミュニ

ティーバスの住民満足度

等を把握するため、住民

の生の声を聴くことが大

切。いつ、どのような方

法で「住民ニーズ」を把

握されるのか。



住民ニーズの把握を（福祉バス）

## 推進協議会からの「報告書」はどうなったのか？

## 【答】全体の総括を行いたい

【質問】

小中一貫教育推進につ

いて住民アンケートまで

実施されたが、推進協議

会からの「報告書」は未

だ提出されていない。

については、早急に提出し

て頂き、「町民の窓」や「教

育だより」などで、広く住

民に行いたいと考えている。

民に公表して頂きたい。

【答 弁（教育長）】

推進協議会でご協議、

意見交換して頂いた内容

については、今後の一貫

教育推進に非常に重要で

あり、アンケート調査等

を踏まえた全体の総括を

## 複式簿記会計の導入は

## 【答】平成二十九年度を目途に取り組んでいる

【質問】

新たな地方公会計制度

として導入が要請されて

いる「複式簿記」につい

て、本町ではどのような

見通しで取り組まれている

のか。

【答 弁（財政課長）】

平成29年度の導入を目

途として準備を進めてお

り、前年度には、財務書類

作成の試行をすべく、電

算システムの大幅な改修

や職員の複式簿記に対す

る知識の習得研修にも取

り組む予定である。

# 第3回 議会報告会

平成27年8月2日(土)、多くの住民の皆様の参加を頂く中で、第3回議会報告会を開催することができました。

今回の報告会は本年3月及び6月定例会での審議内容を中心に、次の構成で行いました。



- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 第1部・議会報告           | 第2部・意見交換        |
| 総務産業常任委員会          | ① 地方創生          |
| 会・文教厚生常任委員会        | ② 住民と議会         |
| 委員会・新庁舎建設調査検討委員会   | ③ 生涯学習(生きがいづくり) |
| 新名神高速道路建設に関する特別委員会 | ④ その他           |
| 予算特別委員会            |                 |
| の5つの委員会から報告        |                 |

## 第2部の意見交換で出された意見

- ◎ 文教厚生委員会としては、本町の教育状況をどのように把握しているのか。
- ◎ 保育所に正職員が少ないのはなぜか。
- ◎ 全国学力テストの本町の結果はどうであったのか。
- ◎ 山手線の進捗状況はどうか。また、予想ルート、位置関係等分かりやすい地図を配布してほしい。
- ◎ 地方創生に関して、議会ではどのような議論をしているのか。
- ◎ 本会議の会議録を議会報告会までに出してほしい。また、各委員会の会議録も作成すべきである。
- ◎ 議会を夜に開催してほしい。
- ◎ 議員は、地域での様々な会合に足を運んでほしい。



- ◎ プレミアム商品券が余っているが、今後どうするか。
- ◎ かつき診療所の活用について、議会の方からも提案してほしい。
- 頂きました意見には、各々の議員からその場で答弁を行いました。
- 今後、開かれた議会をめざし、工夫を凝らした議会報告会を開催して参りますので、よろしくお願いたします。



いばら ぎ てる き  
**茨木輝樹**さん



宇治田原町の歴史を紐解く、宇治田原町歴史を語る会の「茨木輝樹」さんにインタビューしました。

**Q. 趣味はなんですか。**

A. 歴史小説を読むことです。最近では小説 土佐堀川「広岡浅子の生涯」を読みました。

**Q. 歴史調査を始められたきっかけは**

A. 子どもの頃から歴史が好きでした。定年後、宇治田原町に戻り図書館、町内の旧家を訪ね歴史を学びました。平成25年1月に「宇治田原歴史年表」。平成26年6月に「木村正平の生涯」を出しました。遠方にも取材に行き未知な出来事や情報を得ることが出来ました。

**Q. 今回「永谷宗圓」と「奥田治作」について住吉大社まで行き調査された内容は。また、何を発見されたのか**

A. 宇治道の改修工事を完工された奥田治作（伏見で誕生し後に宇治田原に居住）を中心に奥田家の歴史を調べていましたところ、友人が奥田治作という書物を見つけ、そこに住吉大社に石燈籠の報告があり現地調査を実施したところ、永谷宗圓と隣接して寄進されている石燈籠を神職から教えていただき、大きな発見をすることが出来ました。

**Q. 一人でコツコツ根気のいる仕事と思いますが、ご苦労な点は何ですか。**

A. 特に注意することは文献に出ていること。人から聞いたことが真実であるか否かを確認する作業は大変です。町内の人々は力を貸してくださり感謝しています。

**Q. 今後はどのような調査をされますか。**

A. 「田原奥田家 1000年の歴史を語る」を執筆中です。その後は宇治田原歴史年表の改訂版を考えています。

**Q. 住民の皆さんに一言。**

A. 歴史に興味を持っていただき、歴史に関して情報を頂きたいと思います。



# 躍動の秋

まちがど  
点景



宇治田原保育所



田原まつり



うぐいす幼稚園

次回議会の予定  
〈12月定例会〉  
**12月7日** 開会日  
詳しい予定はHPにてお知らせします

## 今号の表紙

たわわに実った「つる  
のこ柿」今年もまもなく  
宇治田原特産の甘くてお  
いしい「古老柿」づくり  
が始まります。

編  
集  
後  
記

住民の皆様いかがお過  
ごしですか。秋にはス  
ポーツ、読書、食欲とい  
う風に色々と形容されま  
すが、皆さんはどんな秋  
を満喫されていますか。

さて、9月定例会では  
各常任委員会、補正予算  
特別委員会をはじめ、平  
成26年度の財源がどのよ  
うに用途し、大切な税を  
有効に活用されたかを検  
証する決算特別委員会を  
開催し慎重に審査を行  
議しました。

皆様のご意見、ご感想  
をお寄せください。

広報編集委員 垣内